

ちょこっとチャーミー

メンバー紹介

第04号

2021.10.20

発行:チャーミーGreen

私たちは、誰もがいつでも本を読める環境を作ることを目指しています。

子どもたちが本をたくさん読むことで、視野を広げて社会の多様性を学び、豊かな心で未来をより明るく照らして欲しいと願うからです。

各学年の教室に本を届けに行くと、「やったー!」「新しい本だ!」などの歓声で迎えてくれます。子どもたちの喜ぶ顔に元気をもらい、次も待っててね!!と一層やる気になれるのです。

この活動に関わり、私自身も読書のすばらしさを改めて感じました。本が多くのことを教えてくれるので、メモを取りながら夢中で読んでいます。



飯野友紀

- 15歳・10歳の仲良し姉妹のママ(下の子はママよりもお姉ちゃんが好きw)
- つい買ってしまふ雑誌:PRESIDENT(→買って満足してるところありw)
- 好きなこと:買い物・おしゃべりしながらのお茶
- お仕事:在宅で翻訳会社の事務作業

チャーミーの活動が、こどもたちのより良い学校生活のお手伝いになるといいなと思っています。みなさんからのご意見大歓迎です!

みんながチャーミーBookも活用して、たくさん本に触れ活字を読むことが楽しい♪につながると嬉しいです!!

(大人用の本もたくさんあります! 設置場所考え中→後ほどお知らせします☆お楽しみに☆)



高橋亜矢

★三姉妹緑小を卒業

★基本マンガが好き!子育て本も読み漁った経験あり

★頑張ってること:茶道(某幼稚園に行ってます)

:着物(緑小で浴衣の着付けお手伝い)

★仕事:看護師(高齢者対象)

大森由貴子



自身の子どもたちを卒業させてみて、緑小の子どもたちは『本が好きの子が多い』と思いました。それは学年文庫が存在したからだだと思います。色々なジャンルの本を廊下に出れば手にすることができる環境。これからの子どもたちにも味わって欲しくチャーミーBookをはじめました!感受性の豊かな緑小の児童のかわいい笑顔を見るために。チャーミーBookで子どもたちが本の世界へ行けるお手伝い。

・本を読むことの大切さを社会人になってから知りました。学生時代は漫画しか読んでなかったことに少し後悔しています。



石川茂徳

・現在、長女と長男が緑小にお世話になっていて、二人とも父親に似ず小さいころから本がとっても大好きです。子どもたちには、本をとおしていろいろなことを学び成長してもらいたいです。

我が家は3兄弟。毎日、面白い話をしてくれます。本にこんなこと書いてあったよ!と教えてくれて、そうなんだあ〜と思うことも。



身近に本があって、すぐに読める環境って大切ですね。どんどん世界を広げて行ってほしいです。大人向けの本借りてみたい!

濱本久美子

小学生のときに何度も読んだ本

- ・「海」加古里子
- ・「小公女」バーネット/川端康成訳

各児童に配られたタブレットで電子書籍を読めばいいのではないかとも思いましたが、検索だけであつという間に時間が過ぎてしまうことがありますよね。

緑小の子どもたちがぱつとすぐに本を手にとれる環境づくりをしてくれた、麗しき美女3人に感謝します。

井上江梨子

今回はチャーミーGreenのメンバー紹介をさせていただきました。チャーミーの活動を身近に感じてもらえたら嬉しいです。

新しい言葉を知れば世界が広がります。

たくさん本と触れ合って、世界を広げてほしいと思っています。

